

機構ホームページ掲載用原稿

団体名	公益社団法人大学コンソーシアム石川						
事業名	外国籍労働者と留学生の交流の場創出と人的ネットワーク形成						
実施期間	①令和7年7月20日（日）、②令和7年12月3日（水）						
場所	①石川県政記念しいのき迎賓館、②工場見学：小松電業所、意見交換会：瀬戸又						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	13	8	1	10	10	10	52名

<実施内容>

石川県は高等教育機関が多く、伝統工芸、繊維・機械工業等が発達している点の特徴であるが、卒業後は県外企業への就職が多く、人手不足のため外国籍労働者の雇用が漸増している。

本事業は、本コンソーシアムと産業界・地域との連携強化、学生への留学支援、留学生と外国籍労働者の交流、留学生と外国籍労働者を雇用する企業との接点の創出、留学生・外国籍労働者が地域文化を知ること等により、地元定着を期待して実際されたものである。

①グローバルカフェは、令和7年7月20日（日）に実施し、今回海外に派遣する2名の学生による発表が行われた後に、派遣学生が提案したテーマに基づきワークショップが行われた。参加学生8名のうち3名は、当コンソーシアムが実施する留学支援プログラム（Take-Off Program）に興味がある学生であり、海外に関心のある学生に対し、このプログラムの周知、今後の応募に繋げることができた（うち1名は本年度2回目のTake-Off Programに応募している。）。

②企業との意見交換会は、4大学4か国の留学生19名の募集があった（当日、急病・試験等のため参加したのは4大学4か国の留学生13名）。

最初に建設機械の外装部品、タンク等を製作する小松電業所において工場見学を行った。同社には石川県内の大学を卒業した留学生が就職しており、その仕事内容、生活環境等について説明が行われた。その後、北前船主の邸宅である瀬戸又において、小松市国際交流協会から小松市の紹介、瀬戸又店主から建物・調度品の由来、県内の企業に就職予定の留学生から体験談などの説明があった。その後、参加した留学生は5つのグループに分かれ、情報交換会に参加した5社からの企業説明、外国籍労働者の活躍等について説明が行われた。小松商工会議所から小松の産業について全般的な説明があり、小松市の産業について理解を深めた。最後に、再度、瀬戸又の調度、北前船の歴史について説明があり、小松の文化の一端に触れることができた。

<記録写真>



①終了時の集合写真



②意見交換会（瀬戸又）



②文化体験（瀬戸又）

<参加者からのコメント>

参加留学生

このイベントに参加できたことを大変嬉しく思います。このイベントは、日本の製造業が日々どのように運営されているかについての知識を広げてくれました。工場見学を通じて、製造工程や現場がどれほど整理整頓されているかを見ることができました。討議セッションは、異なる企業から多くの情報を得ることができ、また、会話により深く参加できるような大変ユニークなコンセプトでしたので、非常に楽しかったです。企画者の皆様、本当にありがとうございました。

企業からの参加者

中国、インドネシア、ミャンマー、バングラデシュなど幅広い国の学生と交流でき、学生の興味のあるところが何か、自社としても今後どのように留学生に興味をもらえるようにすべきかを考える機会になりました。また今回の経験が学生さんの参考になっていれば幸いです。

英語名称（英語版作成用）

団体名	University Consortium Ishikawa
事業名	Creating Opportunities for Interaction and Building Human Networks Among Foreign Workers and International Students